

# 新環境総合計画の中期的目標と進捗状況

分野	環境総合計画に掲げた目標	目標値(2020年)	計画策定時の状況		最新の状況		目標達成状況 <sup>注1</sup>	目標達成に向けての進捗状況 <sup>注2</sup>	
			数値	年度	数値	年度			
低炭素	<b>■温室効果ガス排出量<sup>*</sup>を2005年度比で7%削減する。<sup>注3</sup></b> <small>※電気の排出係数は関西電力㈱の2012年度の値(0.514kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を用いて設定</small>	5,210万t	5,605万t	2005	5,705万t <sup>注3</sup>	2014	-	-25.3% <sup>注3</sup>	
循環	<b>■資源の循環をさらに促進する。</b>								
	【一般廃棄物】リサイクル等の推進により、最終処分量を32万トン以下とする。 <sup>注4</sup>	32万t	39万t	2014	39万t	2014	-	-	
	【産業廃棄物】リサイクル等の推進により、最終処分量を37万トン以下とする。 <sup>注4</sup>	37万t	38万t	2014	38万t	2014	-	-	
	<b>■リサイクル社会を実現する府民行動を拡大する。</b>								
	リサイクル製品を購入する府民を倍増する。 <sup>注5</sup>	倍増	34.3%	2009	10.2%	2015	14.9%	-70.3%	
資源物 <sup>*</sup> を分別する府民を概ね100%にする。 <sup>注5</sup> <small>※ペットボトルや空き缶、古紙等</small>	100%	89.4%	2009	62.3%	2015	62.3%	-0.3%		
生物多様性	<b>■生物多様性の府民認知度を70%以上にする。<sup>注5</sup></b>	70%	16.9%	2008	18.8%	2015	26.9%	3.6%	
	<b>■生物多様性の損失を止める行動を拡大する。</b>								
	活動する府民の割合を倍増する。 <sup>注3注5</sup>	倍増	6.0%	2014	0.9%	2015	7.5%	-85.0%	
	地域指定を新たに2000ha拡大する。	2,000ha増 (83,970ha)	鳥獣保護区	12,801ha	2009	12,914ha	2015	99.9%	95.6%
			保安林	16,388ha	2009	17,234ha	2015		
			府立自然公園	2,594ha	2009	3,541ha	2015		
			国定公園	16,498ha	2009	16,498ha	2015		
			近郊緑地保全区域	33,580ha	2009	33,580ha	2015		
			自然環境保全地域	38ha	2009	38ha	2015		
			緑地環境保全地域	32ha	2009	37ha	2015		
特別緑地保全地区			2ha	2009	3ha	2015			
自然海浜保全地区	22ha	2009	22ha	2015					
国・府指定天然記念物	15ha	2009	15ha	2015					

## 新環境総合計画の中期的目標と進捗状況

分野	環境総合計画に掲げた目標	目標値(2020年)	計画策定時の状況		最新の状況		目標達成状況 <sup>注1</sup>	目標達成に向けての進捗状況 <sup>注2</sup>
			数値	年度	数値	年度		
健康	■大気環境をさらに改善する。							
	NO2の日平均0.06ppm以下の確実な達成と0.04ppm以上の地域の改善	①0.06ppm未満 100% ②0.04ppm以上の地域の改善	①98%(99局/101局) ②-	2009	①100%(102局/102局) ②100.0%(61局/61局)	2015	①100% ②100%	①100% ②100%
	PM2.5の環境保全目標達成	達成率100%	数値なし		34.5%(19局/55局)	2015	34.5%	-
	光化学オキシダント濃度0.12ppm未満	0.12ppm以上の日数 0日	17日	2009	12日	2015	-	29.4%
	■水遊びができ、水道水源となりうる水質を目指し、水環境を改善する。							
	B類型のBOD基準3mg/lを満たす河川の割合を8割にする。	80%	63.8%	2009	81.5%	2015	101.9%	109.3%
	■大阪湾を多種多様な生物が継続的に生息出来るようにする。							
	DO5mg/l以上(湾奥部は3mg/l以上)の達成	100%	58.3%	2009	33.3%	2015	33.3%	-
	藻場面積400haを目指す。	400ha	352ha	2009	365ha	2015	91.2%	27.1%
	■環境リスクの高い化学物質の排出量を2010年より削減する。	2010年度排出量より削減(4675トン)	5634トン	2008	4333トン	2014	-	-

注1 目標達成状況は目標値に対する現状の達成率を記載 計算式:達成率(%)=最新の状況/目標値×100

注2 目標達成に向けての進捗状況は、計画策定時の状況を0%、達成を100%としたときの進捗率を記載 計算式:進捗率(%)=(最新の状況-計画策定時の状況)/(目標値-計画策定時の状況)×100

注3 2014年度における複数年サイクル点検評価を受け、目標を変更。2014年度の数値は2014年度の電気の排出係数を用いて算出した数値であり、進捗状況もこの数値をもとに記載。

注4 循環型社会推進計画策定に伴い、目標を変更。(2016年度)

注5 2015年度から、府政モニターを対象とした調査から民間のインターネット調査会社が保有するモニターを活用した調査に変更し、対象者、内容等を変更。